

ブックちゃん通信

中央図書館だより 第106号 ころこにうるおい 本のある暮らし

平成27年1月4日 富士宮市立中央図書館 TEL26-5062

図書館ホームページアドレス <http://library.city.fujinomiya.shizuoka.jp>



© 富士宮市さくやちゃん

新年 おめでとうございます。

昨年中は、図書館をご利用いただきありがとうございました。

今年も皆様に図書館をご利用いただくために、資料、サービスの充実に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



2014 年を振り返る。



「雪と氷の大研究」片平孝/著 PHP研究所

「あなたに優しい防災習慣・天気の見方」吉浦亮子/著 誠文堂新光社

**富士宮市の10大ニュースは第1位は「記録的大雪」、
富士宮版今年の一文字も「雪」でした。**



「雪の手紙」

片平孝/著 青菁社

2014年の2月は、富士宮市でも珍しい大雪になりました。

富士宮駅伝も中止になり、市内北部では農作物などに大きな被害が。はじめて雪かきを体験した人もいたのでは。

暖かい静岡では雪が積もることがあまりありませんが、富士宮は富士山の裾野、年に何度か雪が降ることもあります。雪はきれいですが、怖いものでもあります。去年の雪を教訓に心配な方は早めの準備が必要です。



そして、第2位は「富士宮駅前交流センター(きらら)のオープン」です。

富士宮駅前に開館した「富士宮市富士宮駅前交流センター」(愛称：きらら)には、1階には、「図書コーナー・富士山学習コーナー」があります。こちらでも、図書館の本の貸出・返却ができます。

貸出には「図書館利用カード」が必要です。ご利用ください。

開館時間 午前9:00～午後9:30

休館日 毎月第3月曜日(その日が祝日の場合には翌日)
年末年始(12/29 から 1/3)



2014 年話題になった本 あなたはもう読みましたか？



第 11 回本屋大賞
「村上海賊の娘 上・下」
和田竜／著 新潮社



TVドラマ「花子とアン」で人気
「白蓮れんれん」
林真理子／著 中央公論社

今年は実用書も話題になりました。

「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」(坪田信貴/著 KADOKAWA)や、「自閉症の僕が跳びはねる理由」(東田直樹/著 エスコアール出版部)など、当館でも予約が多数つきました。

外国文学では「窓から逃げた100歳老人」(ヨナス・ヨナソン/著 西村書店)が映画化の影響も有、予約が多い本です。

また、人気作家:東野圭吾さんの小説「虚ろな十字架」では、舞台に富士宮市が登場して話題になりました。



2014 年に発表された芥川賞・直木賞

150 回芥川賞



「穴」

小山田浩子／著 新潮社

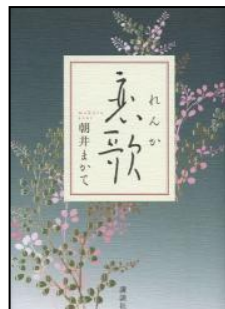
151 回芥川賞



「春の庭」

柴崎友香／著 文藝春秋

150 回直木賞



「恋歌」

朝井まかて／著 講談社

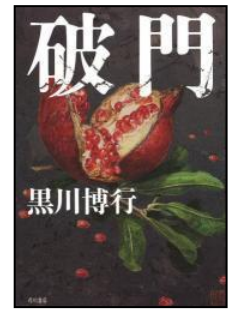
150 回直木賞



「昭和の犬」

姫野カオルコ／著 幻冬舎

151 回直木賞



「破門」

黒川博行／著 KADOKAWA

賞といえば第 3 回静岡書店大賞が発表されました。



小説部門 大賞
「本屋さんのダイアナ」
柚木麻子／著 新潮社



児童書新刊部門 大賞
「うみの100 かいたてのいえ」
いわいとしお／著 偕成社



児童書名作ロングセラー部門 大賞
「ぐりとぐら」
なががわりえこ・おおむらゆうこ／著 福音館書店



映像化したい文庫部門 大賞
「書店ガール」シリーズ
碧野圭／著 PHP 研究所

2014 年もたくさんのお本が出版されました。



寒い冬は、読書にぴったいです。

あたたかい部屋で、いつか読もうと思っていたあの本を
読んでみませんか？

ぜひ、図書館に本をさがしにお越し下さい。



こんなにひろがる 本の世界

一つの事柄から本の世界は広がっていきます。

たとえば、

2014年話題になったTVドラマ「花子とアン」を見て、花子の本を読んでみたいと思ったら

「花子とアン」のノベライズ版(TVドラマを小説にしたもの)は、出版されていません。

原案となったのは、

「アンの子りかご 村岡花子の生涯」

(村岡恵理/著 マガジンハウス) です
孫の恵理さんが書いた花子の人生です。



もっと村岡花子に
ついて知りたい!



それなら。

「伝記」

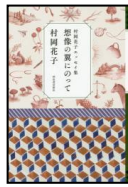


「村岡花子の世界」
(村岡恵理/他監修 河出書房新社)

「著作」

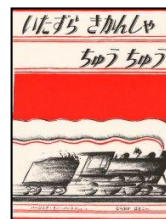


「たんぽぽの目」
—村岡花子童話集— (河出書房新社)

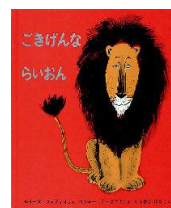


「想像の翼にのって」
—村岡花子エッセイ集— (河出書房新社)

「翻訳本」



「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」「ごきげんないおん」
(福音館書店)



赤毛のアンを読みたい

「赤毛のアン」シリーズ

それなら。

実は「赤毛のアン」は、アンの子りかが主人公になるまで続くシリーズ作品です。



「赤毛のアン」(ポプラ社)



「アンの子りかご」(新潮社)

私は友達の白蓮の事が知りたいわ。

それなら。

「伝記」



「白蓮—気高く、純粋に。時代を羽けた愛の生涯—」
(宮崎路花(白蓮・龍介の長女)/監修 河出書房新社)

「著作」



「白蓮の夢」の夢—白蓮自叙伝—
(河出書房新社)

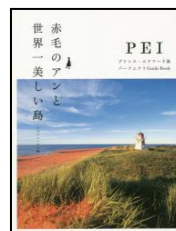


もっと、アンの世界を知りたい

それなら。



「赤毛のアン レシピ・ノート」(イレーン・クロフォード/他編著 東洋館)
「赤毛のアンと世界—美しい島」(マガジンハウス)
アンの子りかごのアンや、舞台になったプリンスエドワード島の本はいかがですか?



他にも

山梨の本・モンゴメリーの本(赤毛のアンと同じプリンス・エドワード島を舞台にした「アボンリーへの道」シリーズ。「可愛いエミリー」など)・村上花子翻訳本(「少女パレアナ」「リンパロストの乙女」など)・アニメーションの赤毛のアン(「思い出の世界名作劇場オフィシャルガイド」双葉社他)・視聴覚コーナーには、赤毛のアン映画もありますよ。

2015年こんな本、読んでみませんか？

2015年の静岡の話題といえば、「徳川家康没後400年」！！

2015年は、徳川家康が亡くなって400年目の年になります。
家康は人生の3分の1を駿府(静岡)で過ごし、久能山東照宮に祀られています。
浅間神社の本殿等の造営など、富士宮ともゆかりがあります。

「徳川家康」についての本

小説



「徳川家康」 「覇王の家」 「家康と正信」 「遁げろ家康」 「あるじは家康」

山岡荘八/著 講談社 司馬遼太郎/著 新潮社 童門冬二/著 PHP研究所 池宮彰一郎/著 朝日新聞社 岩井三四二/著 PHP研究所
(※「徳川家康」は、中央館は全集版になります。文庫版は西富士図書館所蔵。)



「徳川家康事典」 「徳川家康と駿府大御所時代」 「駿府の大御所 徳川家康」

新人物往来社 静岡市/編 小和田哲男/著 静岡新聞社



児童書もあります。

「ビジュアル戦国英雄伝3 徳川家康」
学研マーケティング

2015年は、羊年です。

羊年生まれといわれている人には、土方歳三(1835)・勝海舟(1823)などがいます。

小説家にも、坪内逍遙(1859)、国木田独步(1871)、志賀直哉・高村光太郎(1883)、中原中也・井上靖、山岡荘八、石井桃子(1907)、やなせたかし・水上勉(1919)、谷川俊太郎・有吉佐和子・常盤新平・小松左京(1931)、角田光代(1967)などがいます。



© 富士宮市さくやちゃん

羊年生まれの人の伝記や、書いた作品を読んでみませんか？

中央図書館休館日のお知らせ



- 1月の休館日: 1～3日(年始)・5日・12日(祝・月)・13日(振替・火)・19日(月)・23日(第4金)・26日(月)
2月の休館日: 2日(月)・9日(月)・11日(祝・火)・16日(月)・27日(第4金)
3月の休館日: 2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・27日(第4金)・30日(月)

※2月23日(月)は、富士山の日のため、開館いたします。

中央図書館開館時間: 9時～17時、水・木・金曜日は夜7時まで開館しています。(休館日をのぞく)
※休館日、開館時間を変更する場合は、図書館ホームページ、館内の掲示等でその都度お知らせします。



図書館テーマコーナーのご案内

中央図書館には、ひとつのテーマを決めて、
図書を集めて紹介しているテーマコーナー
があります。

テーマコーナーの図書は貸出ができます。

「なにか、おもしろい本ないかな？」と思ったら、テーマコーナーの本のぞいてみませんか。



図書(一般向け)

☞ テーマ「**別冊太陽の世界**」 サービスカウンター前テーマ書棚にて

平凡社から出版されている雑誌「別冊太陽」を紹介します。
美しい写真と豊富な資料とともに、毎号一つのテーマを深く掘り下げて紹介している雑誌です。

☞ テーマ「**伝説の女・伝説になる女**」 入口側雑誌架横にて

女性作家の作品と、作家の伝記・研究書を紹介。

図書(児童向け)

児童コーナー入口書棚にて

☞ テーマ「**ひつじのほん**」

2014年の干支はひつじです。本の中にもいろいろなひつじが出てきます。
ひつじの出てくる本を紹介します。



☞ テーマ「**ふゆのたのしみ**」

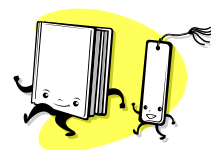
季節の絵本コーナーでは、その季節にあった絵本などの紹介をしています。

図書(ヤングアダルト向け)

YA(青少年)コーナー正面書棚にて

☞ テーマ「**夜食の本**」

受験やテスト勉強などで、夜遅くなったときにおすすめの夜食の本を紹介します。



図書館の こんなこと 知っている？



「**福島民報**」と「**福島民友**」



★中央図書館で福島県の地元紙を閲覧できます。

福島県の「ふるさとふくしま帰還支援事業（地元新聞提供事業）」によって、地元紙を避難者の方が読めるように、「福島民報」と「福島民友」をご寄贈いただき、ご用意しています。県外へ避難されている皆さんに、福島の情報に触れていただき、ふるさととのつながりを感じていただくための情報提供事業です。もちろん、福島県以外の方も読むことができます。今の福島が分かります。

(福島より数日分まとめて郵送で来るため、閲覧は到着後になり少し遅れます。)



図書館行事のご案内

中央図書館では、いろいろな行事を計画しています。
皆さまのご参加をお待ちしています。
くわしくは、図書館カウンターのチラシ、またはHPをご覧ください。



「サイエンス講座 音と楽器の科楽—大人のためのサイエンスショー」

平成27年2月6日(金)午後7時から午後8時30分 視聴覚ホール
講師:中澤進さん(サイエンスプロジェクト=科学を楽しむ会)
申込受付:平成27年1月10日(土)午前9時から 先着順 40人 (電話可)



「歴史講座 一勇斎国芳がゆく」

平成27年2月6日(金)・13日(金):全2回 午後2時から午後3時30分 視聴覚ホール
講師:市川隆さん(富士宮市社会教育指導員)
申込受付:平成27年1月16日(金)午前9時から 先着順 30人 (電話可)

「講演会 小泉八雲と富士山」

平成27年2月21日(土) 午後1時30分から午後3時 視聴覚ホール
講師:若林和司さん(富士宮市郷土史同好会会長)
申込受付:平成27年1月28日(水)午前9時から 先着順 50人 (電話可)



定例の行事



自由に参加できます。

ただし、おはなし会、絵本をよむ会は、会の途中から参加することはできません。
開始時間にお話室前に集まってください。

- | | | |
|-------------|------------------------------|---|
| ☆映画鑑賞会 | 毎週日曜日 午後2時から 視聴覚ホール |  |
| ☆こどもえいが会 | 第2・第4日曜日 午前10時から 視聴覚ホール | |
| ☆おはなし会 | 毎週土曜日 午後2時から午後2時30分 おはなし室 |  |
| ☆高学年向けおはなし会 | 毎月第4土曜日 午後2時40分から3時10分 おはなし室 | |
| ☆えほんをよむ会 | 毎週日曜日 午後2時から午後2時30分 おはなし室 | |
- ※都合により、中止・変更になる場合があります。



子育てタイム

子育て中のお母さんに、お子さんと一緒にゆっくり過ごしていただけるようにはなし室を開放します。
職員が、絵本の読み聞かせ・手遊び・本の紹介などを行いますので、親子で来館ください。

毎週木曜日 午前10時から12時まで おはなし室

図書館に
お越しください。





可愛いエミリー 新潮社 モンゴメリ／〔著〕 村岡花子／訳

他に「ストーリー・ガール」シリーズ

